

「大人力」②

思春期SOSが出たときこそ「大人力」が試されます！

先月の市報では、問題行動に走る前の少年・少女たちの「思春期SOS」とも言えるサインをしっかりと受けとめ、子どもたちをサポートしていくことが、子どもの人権を守ることにつながるとお伝えしました。

「わが子も近所の子も健やかに：ほうっておかない」という願いをもって「大人力」を発揮していきたいものだと思います。

*思春期SOS①： けばけばしい服装！

・わが子だったたら…

表情も明るく、勉強にクラブ活動にと意欲的に学校生活に取り組んでいるなら、さほど心配はいりません。逆に、やる気のない様子が現れ服装がけばけばしくなってきたら、SOSの発信ではないかと考え、話し合ってみる必要があります。

その際、女子の超ミニニスカートやキャミソールなど「肌出しルック」

や男子の腰パンツなど「だらしな系ファッション」は、周りから好奇の目で見られたり犯罪に巻き込まれるおそれがあるなど、様々なリスクが伴うことを伝え、自覚させることが大切になってきます。

・近所の子だったたら…

女子の露出度の高い服装や男子の不良っぽい格好を見て心配だなどと思つたら、保護者に率直に伝えてみてはどうでしょうか。保護者がそれを認めており、子どもの言動にも特に問題がなければ、「おしゃれ心の表現」としてあたたかく見守ってやれる余裕をもちたいものです。

*思春期SOS②： 携帯電話の使いすぎ！

・わが子だったたら…

携帯電話を持たせる前に、利用料金は小遣いの範囲内にとどめるのか、親が支払うのかなど、使い方について子どもとの間に一定のル

ールを取り決めておくことが必要です。使いすぎたり、ひとときも手放せないでメールなどにのめり込んでいくような一時的に使用中止させて、望ましい使い方について話し合うことも必要でしょう。

女子の場合、携帯電話料金が增えて、買ってあげていないブランド品などを隠し持っているような要注意です。親としてわが子を疑いたくは決していないのが当然ですが、出会い系サイトを利用した援助交際をしている疑いもないわけではありません。18歳未満の者による出会い系サイトの利用は法律（出会い系サイト規制法）で禁止されていることも教えましょう。それでも心配ならば、問題のあるサイトにアクセスできないようにするフィルタリングサービスを電話会社に申し込む方法もあります。

・近所の子だったたら…

電車の中や自転車に乗っていると きなどに携帯電話に夢中になつていたら、マナーを守るように声をかけてやれる勇気をもちたいものです。

女子が年上の不審な男性と一緒にいるところを見かけたら、万が一のこともあるかもしれないので、いらぬ世話かもしれないが、保護者の耳に入れておいてあげる必要もあるのではないのでしょうか。

いつでも、どこでも連絡できるたいへん便利な携帯電話ですが、使い方を誤ると「いじめ」につながったり、依存症になったり、交通事故につながったり、有害サイトによる法外な請求を受けたりと危険な一面もあることを大人も子どもも十分にわきまえておくことが求められますね。

